

日本高等教育学会第10回大会

==== プログラム ====



2007

平成19年5月26日(土)・27日(日)

名古屋大学

－ ごあいさつ －

本年の大会は名古屋大学でお引き受けいたしました。本大会は第10回目という節目になる大会で、主催者としてはいささかのプレッシャーを感じないわけではありませんが、幸いにも学内外の多くの会員のご支援をうけ、充実した大会とすべく準備をすすめております。

自由研究発表は昨年とほぼ同じ71件の申し込みがありました。10周年を迎えた本学会の活動の広がり象徴して内容は多岐にわたっています。発表者の顔ぶれも随分と多様になってきました。いずれも興味深い内容で、各部会での活発な議論が大いに期待されます。

今年度の課題研究は「青年期教育としての大学教育－第三段階教育における流動性と青年の進路選択－」と「専門職大学院における学位と知－ビジネス系の認証評価制度を通して－」の2つの部会が設けられます。ともに学会として取り上げるべき重要なトピックであり、こちらでも会員の皆様の積極的な参加をお願いいたします。

大会シンポジウムは大会校の企画によるものですが、学会創設10周年を意識して、「いま、求められる高等教育研究とは？」というテーマを立てました。先述のような広がりをもった高等教育研究が、この揺れ動く時代のなかで今後どうあるべきか、その方向性を探るべく、さまざまな立場からのご意見をいただければと思っております。

何かと不行き届きがあろうかと思いますが、会員の皆様に満足いただけますよう、力を尽くしたいと思っております。皆様と大会会場でお会いできますことを楽しみにしております。

日本高等教育学会 第10回大会準備委員会
委員長 伊藤 彰浩

－ 大会 日 程 －

5月25日(金)

大会前日

18:00 ～ 20:00 理事会

(教育学部1階 大会議室)

5月26日(土)

9:15 ～

受付

(文系総合館 西口)

10:00 ～ 12:00

自由研究発表Ⅰ

(文学部・教育学部)

12:00 ～ 13:00

課題研究打ち合わせ

(教育学部1階 小会議室)

13:00 ～ 15:00

自由研究発表Ⅱ

(文学部・教育学部)

15:20 ～ 17:50

課題研究Ⅰ・Ⅱ

Ⅰ「青年期教育としての大学教育－第三段階教育における流動性と青年の進路選択－」

(文学部2階 237教室)

Ⅱ「専門職大学院における学位と知－ビジネス系の認証評価制度を通して－」

(文学部1階 127教室)

18:10 ～ 20:00

懇親会

(フレンドリー南部)

5月27日(日)

9:15 ～

受付

(文系総合館 西口)

10:00 ～ 12:00

自由研究発表Ⅲ

(文学部・教育学部)

12:00 ～ 13:00

シンポジスト打ち合わせ

(教育学部1階 小会議室)

13:00 ～ 13:30

総会

(経済学部2階 カンファレンスホール)

13:40 ～ 16:30

公開シンポジウム

(経済学部2階 カンファレンスホール)

「いま、求められる高等教育研究とは？」

－ 大会参加のご案内 －

- 参加費** : 正会員・臨時会員 5,000 円
学生会員 4,000 円
懇親会費 4,000 円
※ 事前振り込みは行いません。当日、会場受付にてお支払い下さい。
※ 会員でない方も臨時会員として参加できます。
※ シンポジウムは一般公開の上、無料にて開催します。
- 学会年会費** : 大会会場では、学会年会費の納入はできませんのでご了承ください。
- 入場** : 会場及び懇親会会場への入場は、必ずネームプレートをつけてください。原則としてネームプレートのない方は入場できません。なお、ネームプレートは日程終了後受付へお返しください。
- 呼び出し** : 会場での呼び出しは行いませんのでご了承ください。
- 欠席の場合** : 発表者が欠席するときは、わかり次第、できるだけ早く大会準備委員会に E-mail または FAX でお知らせ下さい。
- 資料のコピー** : 大会準備委員会によるコピーサービスは行いません。自由研究発表用の配付資料等は各自が必要な部数をご用意下さい。
- 昼食** : 5月26日(土)は生協食堂(フレンドリー南部)が営業しております。
27日(日)はフレンドリー南部にて弁当を販売しますので御利用下さい。
- 会員控室** : つなぎ講義棟3階 E 演習室・F 演習室
- クローク** : ありません。貴重品は携帯して下さい。
- 懇親会** : 5月26日(土) 18:10～20:00 生協食堂(フレンドリー南部)にて開催します。
- 喫煙場所** : 建物内は禁煙です。

－ 発表者へのお願い －

1. 発表および質疑応答時間

- 1名 20分（発表15分、質疑応答5分）
- 2名 40分（発表30分、質疑応答10分）
- 3名以上 50分（発表40分、質疑応答10分）

全ての発表について、以下の要領で司会者が目安をお知らせします。

【1 鈴】 発表終了5分前

【2 鈴】 発表終了時

【3 鈴】 質疑応答終了時

2. 発表用機械器具

発表申し込み時に申し込まれた機器（プロジェクター）は準備いたします。

パソコンは各自ご持参下さい。

－ 司会者へのお願い －

1. 発表および質疑応答時間

予定時間をオーバーしないようにタイムキーピングをお願いします。

2. 総括討論

各セッションの最後に総括討論の時間を設けておりますが、利用できる時間はそれぞれの部会によって異なっております。この時間の活用方法は司会者に一任しておりますので、臨機応変に対応していただきますようお願い申し上げます。

－ 会場へのアクセス －

【鉄道:地下鉄名城線 名古屋大学駅下車 1番出口から徒歩5分】

JR 名古屋駅・名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅からの場合

...地下鉄東山線藤が丘行きに乗車し、本山駅で地下鉄名城線右回りに乗り換え、名古屋大学駅下車。所要時間約30分(乗換含)

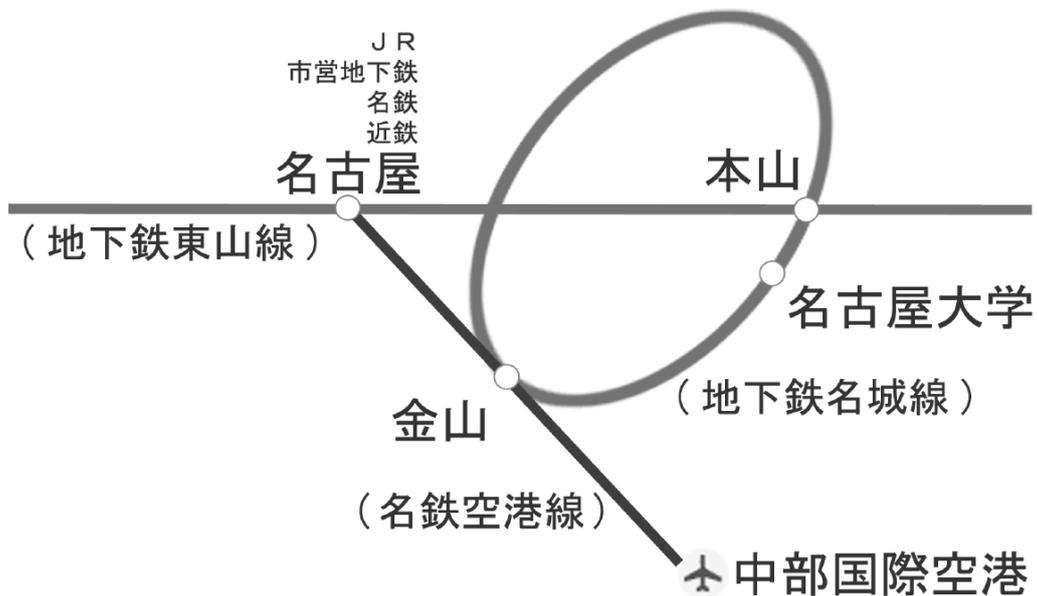
JR 金山駅・名鉄金山駅からの場合

...地下鉄名城線左回りに乗車し、名古屋大学駅下車。

所要時間約25分(乗換含)

【航空機:中部国際空港を利用】

空港から名鉄特急に乗車し、金山駅で下車、その後地下鉄名城線に乗り換え



— 大会会場マップ —



— 大会会場一覧 —

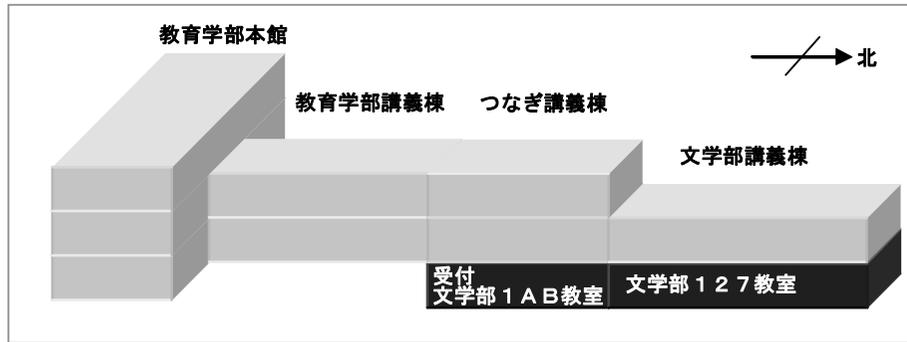
5月26日(土)

文系総合館西口	9:15～ 受付	
	10:00 ~ 12:00 自由研究発表 I	
教育学部第1講義室	I-1部会	学生の多様化
教育学部第2講義室	I-2部会	アドミッション
教育学部第3講義室	I-3部会	教員組織
教育学部大講義室	I-4部会	大学の質保証と評価①
文学部2AB教室	I-5部会	FDの組織化
文学部1AB教室	I-6部会	大学の経営①
文学部127教室	I-7部会	学士課程教育①
	13:00 ~ 15:00 自由研究発表 II	
教育学部第1講義室	II-1部会	学生支援
教育学部第2講義室	II-2部会	就職・キャリア
教育学部第3講義室	II-3部会	研究活動
教育学部大講義室	II-4部会	大学の質保証と評価②
文学部2AB教室	II-5部会	FDの方法論
文学部1AB教室	II-6部会	大学の経営②
文学部127教室	II-7部会	学士課程教育②
	15:20 ~ 17:50 課題研究	
文学部2階237教室	課題研究 I	青年期教育としての大学教育 — 第三段階教育における 流動性と青年の進路選択 —
文学部1階127教室	課題研究 II	専門職大学院における学位 と知 — ビジネス系の認証評 価制度を通して —
	18:10 ~ 20:00 懇親会	
	フレンドリー南部	

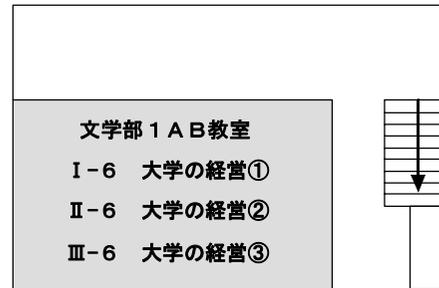
5月27日(日)

文系総合館西口	9:15～ 受付	
	10:00 ~ 12:00 自由研究発表 III	
教育学部第1講義室	III-1部会	大学の国際化
教育学部第2講義室	III-2部会	大学院
教育学部第3講義室	III-3部会	大学教授職
教育学部大講義室	III-4部会	大学政策
文学部2AB教室	III-5部会	教授法
文学部1AB教室	III-6部会	大学の経営③
文学部127教室	III-7部会	カリキュラム
	13:00 ~ 13:30	
経済学部2階 カンファレンスホール	総会	
	13:40 ~ 16:30	
経済学部2階 カンファレンスホール	公開シンポジウム いま、求められる高等教育研究とは？	

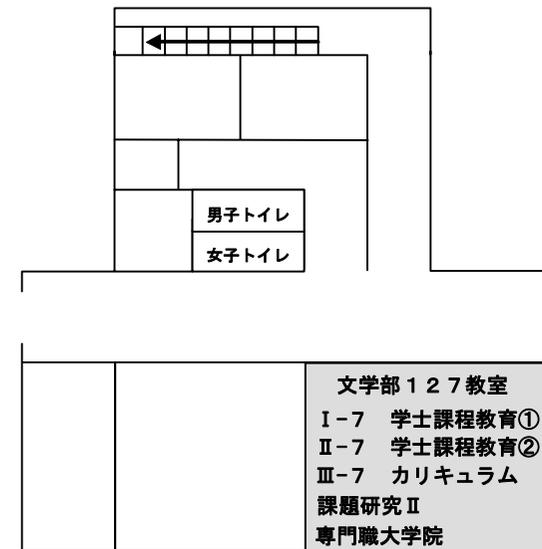
－ 会場案内図 －



つなぎ講義棟 1階



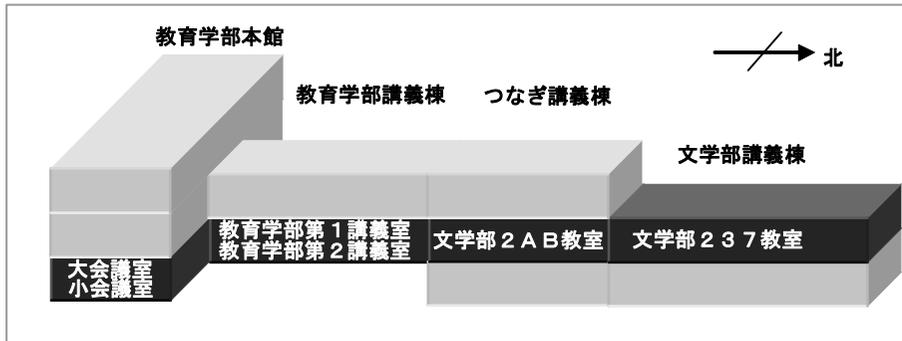
文学部講義棟 1階



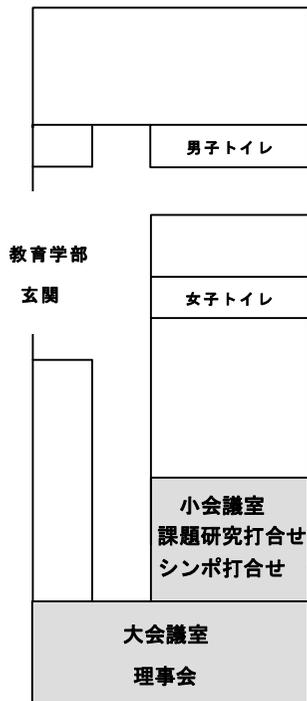
受付

文系総合館

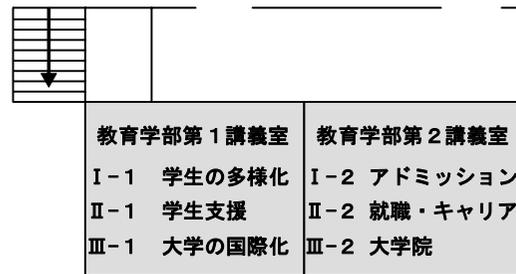
地下鉄名城線名古屋大学駅



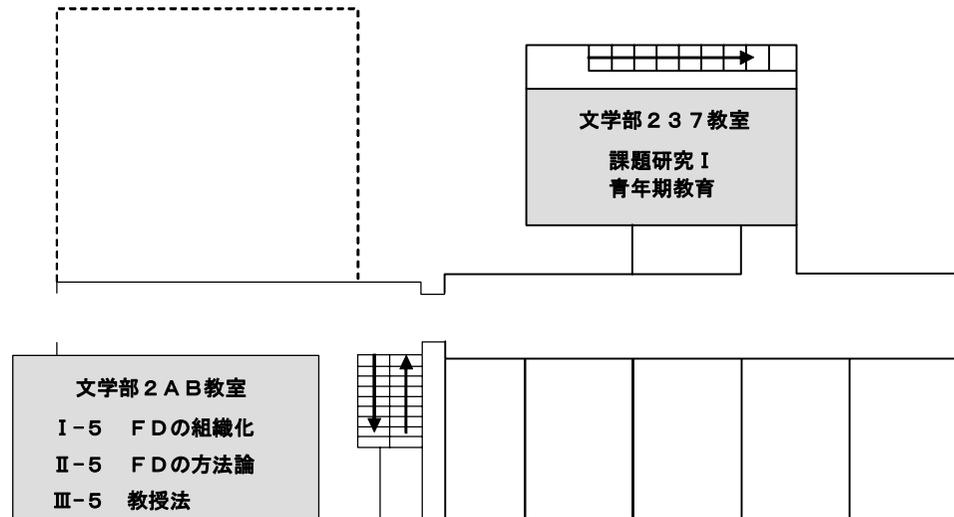
教育学部本館 1階



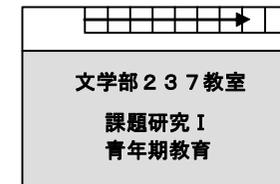
中 庭



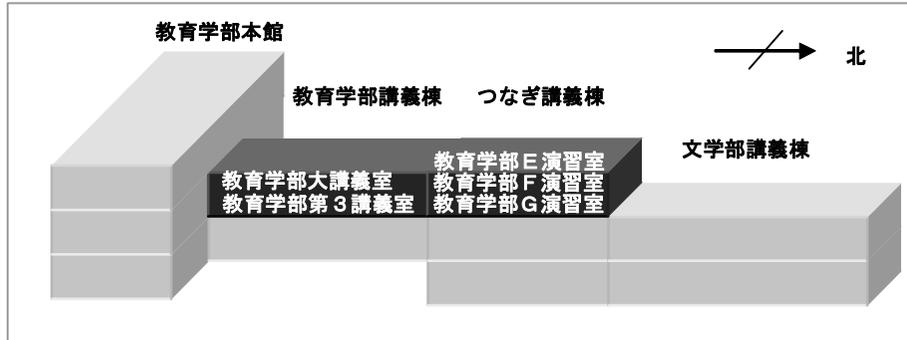
教育学部講義棟 1階



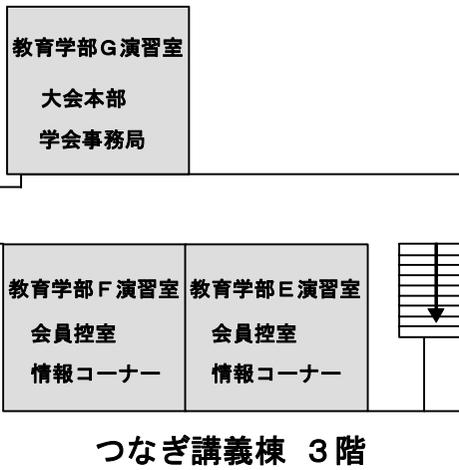
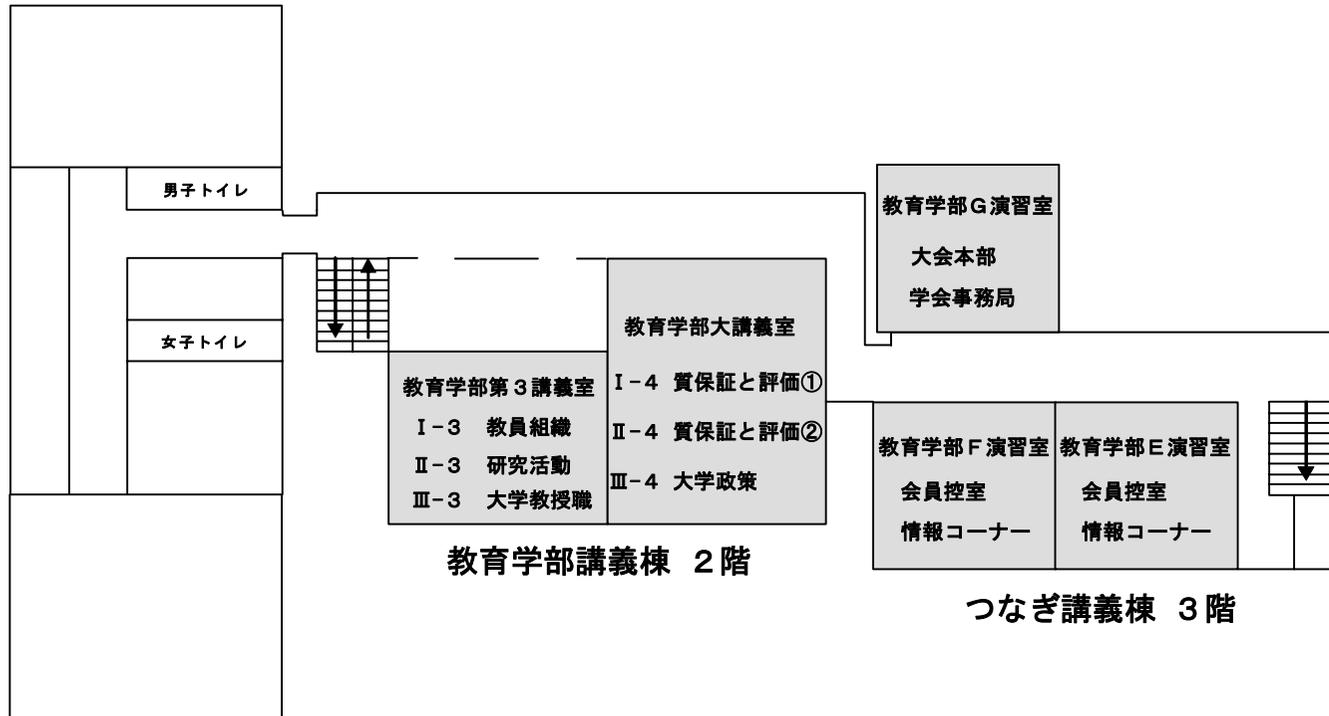
つなぎ講義棟 2階



文学部講義棟 2階



教育学部本館 2階



1 部会 教育学部 第1講義室

学生の多様化

司会 佐藤 広志 (関西国際大学) 藤村 正司 (新潟大学)

10:00 — 10:20

女性の大学型高等教育進学を妨げる要因の考察

○西尾 亜希子 (武庫川女子大学)

10:20 — 10:40

人生戦略としての高等教育進学行動 —JGSS データにみる女性の戦略的ライフスタイル選択—

○稲葉 めぐみ (東京大学) 佐藤 香 (東京大学)

10:40 — 11:00

大学生の教育効果に関する研究 (3) —ジェンダーと高等教育—

山田 礼子 (同志社大学) ○相原 総一郎 (大阪薫英女子短期大学)

杉谷 祐美子 (青山学院大学) 沖 清豪 (早稲田大学)

11:00 — 12:00

総括討論

2 部会 教育学部 第2講義室

アドミッション

司会 鈴木 誠 (北海道大学) 南部 広孝 (長崎大学)

10:00 — 10:40

AO入試の捉え方に影響を与える要因とは何か?

—学部新入生アンケート調査の対数線形モデルを用いた分析—

○西郡 大 (東北大学大学院) ○木村 拓也 (京都大学)

10:40 — 11:00

大学入試における学力観の日・中・韓比較

○金 愛花 (東京大学大学院)

11:00 — 11:20

受験生の工学部離れと工学教育改善の取組み

○滝 紀子 (河合塾)

11:20 — 11:40

入試広報戦略策定のための基礎研究

—過去10年の東北大学入試データから描く「日本地図」—

○倉元 直樹 (東北大学)

11:40 — 12:00

総括討論

3 部会 教育学部 第3講義室

教員組織

司会 加藤 毅(筑波大学) 別府 昭郎(明治大学)

10:00 — 10:50

教員組織改革の現状と方向性 —文科省委託アンケート調査の専門分野別分析をてがかりに—
○早田 幸政(金沢大学) ○西山 宣昭(金沢大学) ○堀井 祐介(金沢大学)
○渡辺 達雄(金沢大学)

10:50 — 11:40

日本の大学における組織変容 —教員組織改革と大学の機能的分化—
○羽田 貴史(東北大学) ○村澤 昌崇(広島大学) ○田中 正弘(島根大学)
葛城 浩一(香川大学)

11:40 — 12:00

総括討論

4 部会 教育学部 大講義室

大学の質保証と評価①

司会 吉川 裕美子(大学評価・学位授与機構) 米澤 彰純(東北大学)

10:00 — 10:20

ボローニャ・プロセスにおける質保証への学生参加とその影響
○廣内 大輔(広島大学大学院)

10:20 — 10:40

日本の高等教育の質保証に関する一考察 —視学委員制度の研究—
○林 透(北陸先端科学技術大学院大学)

10:40 — 11:00

大学のガバナンスと認証評価 —アメリカ・ノースカロライナ大学の事例—
○溝上 智恵子(筑波大学)

11:00 — 11:20

米国ア krediteーションの統括・調整団体の変遷
○福留 東土(一橋大学)

11:20 — 12:00

総括討論

5 部会 文学部 2AB 教室

FD の組織化

司会 田口 真奈 (メディア教育開発センター) 秦 由美子 (大阪大学)

10:00 — 10:20

教員・学生・大学組織による教育の質的向上の方法
○中井 俊樹 (名古屋大学) 齋藤 芳子 (名古屋大学)

10:20 — 11:00

コミュニティ・オブ・プラクティス手法による FD 組織化の可能性
○池田 輝政 (名城大学) ○神保 啓子 (名城大学)

11:00 — 11:20

FD の組織化に関する一考察 — 公立大学の事例を中心に —
○木本 尚美 (県立広島大学)

11:20 — 12:00

総括討論

6 部会 文学部 1AB 教室

大学の経営①

司会 高橋 真義 (桜美林大学) 濱名 篤 (関西国際大学)

10:00 — 10:20

私立大学における退職給付をめぐる課題について — 財務・経営からの観点を中心に —
○川崎 成一 (東京大学大学院)

10:20 — 10:40

アメリカにおける大学アドミニストレーター養成プログラムに関する研究
○高野 篤子 (横浜市立大学)

10:40 — 11:00

大学事務職員のエンプロイヤビリティ向上のための方策
— 国公立大学事務職員アンケートの結果を踏まえて —
○山本 眞一 (広島大学)

11:00 — 12:00

総括討論

7 部会 文学部 127教室

学士課程教育①

司会 原 康夫(帝京平成大学) 山内 乾史(神戸大学)

10:00 — 10:20

2006年度教育改革の評価

○細川 敏幸(北海道大学) 西森 敏之(北海道大学) 安藤 厚(北海道大学)

10:20 — 10:40

キャリア教育と初年次教育融合の teaching portfolio 研究

—社会人基礎力とレベル設定の観点から—

○野口 和枝(秋草学園短期大学)

10:40 — 11:00

構成主義的知識観による学士課程の構築

—九州大学 21世紀プログラムにおける教育知識の構成過程より—

○岡田 佳子(長崎大学)

11:00 — 11:40

大学生のジェネリックスキル獲得とキャリア形成

—第一世代・第二世代に見る学習適応とキャリア意識/行動—

○吉原 恵子(兵庫大学) ○加藤 善子(関西国際大学)

11:40 — 12:00

総括討論

1 部会 教育学部 第1講義室

学生支援

司会 井下 理 (慶應義塾大学) 武内 清 (上智大学)

13:00 — 13:20

学生支援組織の組織改革について
○小貫 有紀子 (広島大学大学院)

13:20 — 14:00

学生の経験と大学生活の充実 —JCSS2005の分析より—
○山田 礼子 (同志社大学) ○杉谷 祐美子 (青山学院大学)

14:00 — 14:20

教育費負担とローン問題
○小林 雅之 (東京大学)

14:20 — 15:00

総括討論

2 部会 教育学部 第2講義室

就職・キャリア

司会 大江 淳良 (ユニバーシティ・アクティブ) 亀野 淳 (北海道大学)

13:00 — 13:20

日欧大卒者の大学経験と初期キャリア
○吉本 圭一 (九州大学) 小方 直幸 (広島大学) 稲永 由紀 (筑波大学)
山田 裕司 (九州大学)

13:20 — 13:40

専修学校卒業生の働き方とキャリア
○濱中 淳子 (リクルート)

13:40 — 14:00

大学新卒者採用におけるコンピテンシー評価の実態
—採用担当者と大学生に対するヒアリング調査をもとに—
○岩脇 千裕 (労働政策研究・研修機構)

14:00 — 14:20

大学教育の文化習得効果 (4)
—4年間の学生生活を通じた職業形成との関わりから—
○大前 敦巳 (上越教育大学)

14:20 — 15:00

総括討論

3 部会 教育学部 第3講義室

研究活動

司会 塚原 修一(国立教育政策研究所) 野村 浩康(東京電機大学)

13:00 — 13:20

大学イノベーション論

○小林 信一(筑波大学) ○加藤 毅(筑波大学)

13:20 — 14:00

研究活動の活性化のための研究施策・環境の状況とその評価

○林 隆之(大学評価・学位授与機構) ○調 麻佐志(東京農工大学)
富澤 宏之(文部科学省技術政策研究所) 山下 泰弘(山形大学)

14:00 — 14:20

産学連携活動と特許出願

○柴山 盛生(国立情報学研究所)

14:20 — 14:40

大学社会の流動性(mobility)に関する総合的研究
—21世紀COEプログラム研究班最終報告—

○山野井 敦徳(くらしき作陽大学)

14:40 — 15:00

総括討論

4 部会 教育学部 大講義室

大学の質保証と評価②

司会 大塚 雄作(京都大学) 村澤 昌崇(広島大学)

13:00 — 13:20

質的データ・グラウンデッド分析の試み —特色GPの採択理由を素材にして—

○半田 智久(静岡大学)

13:20 — 13:40

高等教育のマス化と質的保証 —中国における「高職・高専」評価制度を中心に—

○劉 文君(東京大学)

13:40 — 14:00

欧州高等教育圏における質保証の基準およびガイドラインに対する各国の対応状況に関する考察

○大佐古 紀雄(育英短期大学)

14:00 — 14:20

フランスにおける高等教育質保証の在り方の変化 —事前統制から事後評価へ—

○大場 淳(広島大学)

14:20 — 15:00

総括討論

5 部会 文学部 2AB 教室

FDの方法論

司会 長澤 多代(長崎大学) 吉永 契一郎(東京農工大学)

13:00 — 13:20

高等教育研究における臨床研究アプローチの可能性 —授業コンサルティングを事例に—
○佐藤 浩章(愛媛大学)

13:20 — 13:40

教員の教育力の向上に関する日米比較研究 —IT技術利用の視点から—
○苑 復傑(メディア教育開発センター)

13:40 — 14:20

大学院生を対象とした大学教授法研修会の可能性と課題
○近田 政博(名古屋大学) ○夏目 達也(名古屋大学)

14:20 — 15:00

総括討論

6 部会 文学部 1AB 教室

大学の経営②

司会 中津井 泉(リクルート) 丸山 文裕(国立大学財務・経営センター)

13:00 — 13:20

大学の経営改革に関する研究方法論について —解釈アプローチの意義と課題を中心に—
○平塚 力(東北大学大学院)

13:20 — 13:40

米国私立大学における基本財産とその役割
○長野 公則(東京大学大学院/国際基督教大学)

13:40 — 14:00

わが国の私立大学における学納金について —学納金の定義と名称について—
○中島 輝(大阪経済大学)

14:00 — 14:20

私立大学における施設整備とその資金調達 —第2号基本金を再考する—
○両角 亜希子(東京大学)

14:20 — 15:00

総括討論

7 部会 文学部 127教室

学士課程教育②

司会 小笠原 正明 (東京農工大学) 加澤 恒雄 (広島工業大学)

13:00 — 13:20

学部属性によって有効な自己評価方法は異なるのか？

○串本 剛 (首都大学東京)

13:20 — 14:00

教養教育に関する海外調査(その1) —オーストラリアの到達目標型プログラムの研究—

○米谷 淳 (神戸大学) ○山内 乾史 (神戸大学)

杉本 和弘 (大学評価・学位授与機構)

14:00 — 14:20

大学生の適応過程と学業成績の関係からみた学士課程教育の課題

—大学新生の適応と“移行”に関する個人追跡データによる分析(3)

○濱名 篤 (関西国際大学) 川嶋 太津夫 (神戸大学) 小島 佐恵子 (北里大学)

白川 優治 (早稲田大学) 佐野 秀行 (北海道情報大学)

14:20 — 15:00

総括討論

1 部会 教育学部 第1講義室

大学の国際化

司会 大森 不二雄(熊本大学) 北川 文美(国立教育政策研究所)

10:00 — 10:20

留学生受入れの経済効果の日米比較

○佐藤 由利子(東京工業大学)

10:20 — 10:40

世界の大学の国際化の諸相

○船守 美穂(東京大学)

10:40 — 11:00

インドネシアのイスラーム高等教育改革

○西野 節男(名古屋大学)

11:00 — 11:20

フンボルト理念とは神話だったのか —パレチェック説との対話のなかで—

○潮木 守一(桜美林大学)

11:20 — 12:00

総括討論

2 部会 教育学部 第2講義室

大学院

司会 稲永 由紀(筑波大学) 山田 礼子(同志社大学)

10:00 — 10:20

新しい専門職における専門職大学院 —制度と可能性、ニーズの違いから—

○石原 朗子(総合研究大学院大学)

10:20 — 10:40

専門職大学院の教員組織と教育体制

○石井 美和(東北大学大学院) 橋本 鉦市(東北大学)

10:40 — 11:00

政策系大学院教育はどのように機能しているのか

—A 政策系大学院、在籍時・卒業後のヒアリング調査から—

○長島 弥史郎(日本開発構想研究所)

11:00 — 11:20

米国の研究大学における大学院の組織的基盤

○阿曾沼 明裕(名古屋大学)

11:20 — 12:00

総括討論

3 部会 教育学部 第3講義室

大学教授職

司会 館 昭 (桜美林大学) 早田 幸政 (金沢大学)

10:00 — 10:40

国立大学における教員個人評価をめぐる課題について

○大川 一毅 (秋田大学) ○奥居 正樹 (広島大学)

10:40 — 11:30

大学教授職に関する国際調査 (日本版) —2006年度調査と1992年度調査との比較—

○有本 章 (広島大学) 江原 武一 (立命館大学) 山野井 敦徳 (くらしき作陽大学)

山崎 博敏 (広島大学) ○藤村 正司 (新潟大学) ○浦田 広朗 (麗澤大学)

○大膳 司 (広島大学) 黄 福涛 (広島大学) 小方 直幸 (広島大学)

村澤 昌崇 (広島大学) 西本 裕輝 (琉球大学)

11:30 — 12:00

総括討論

4 部会 教育学部 大講義室

大学政策

司会 小林 雅之 (東京大学) 塙 武郎 (八重洲学園大学)

10:00 — 10:20

70年代産業医養成の論点 —産業医科大学設立を事例として—

○二宮 祐 (一橋大学大学院)

10:20 — 11:10

地方自治体からみた高等教育の現状と課題

—大学全入時代における規制緩和・教育機会・大学誘致の再検討—

○牧野 暢男 (早稲田大学) ○白川 優治 (早稲田大学) ○小島 佐恵子 (北里大学)

○加藤 雄次 (日本開発構想研究所)

11:10 — 11:30

大学立地政策は何をもたらしたか? —東京都所在大学の立地と学部学生数の変動分析—

○末富 芳 (福岡教育大学)

11:30 — 12:00

総括討論

5 部会 文学部 2AB 教室

教授法

司会 苑 復傑 (メディア教育開発センター) 米谷 淳 (神戸大学)

10:00 — 10:50

ロジックは教育効率か、教育効果か —全国大学教員のIT利用実態調査から—

○吉田 文 (メディア教育開発センター) ○田口 真奈 (メディア教育開発センター)

○大多和 直樹 (東京大学)

10:50 — 11:10

専門職業職者教育には他職種の参加が必要である

—Inter-professional Education on the workplace—

○福島 統 (東京慈恵会医科大学)

11:10 — 11:30

「通信制大学院」の現状と課題 —通学制と通信制のボーダーレス化の中で—

○鈴木 克夫 (桜美林大学)

11:30 — 12:00

総括討論

6 部会 文学部 1AB 教室

大学の経営③

司会 天野 智水 (琉球大学) 石塚 公康 (読売新聞)

10:00 — 10:20

国立大学における財務状況の将来推計 —効率化係数・経営改善係数に注目して—

○島 一則 (国立大学財務・経営センター)

10:20 — 11:00

法人化後の国立大学の経営意識に関する調査報告

○高橋 真義 (桜美林大学) ○鳥居 聖 (桜美林大学)

柳生 修二 (総合研究大学院大学) 橋爪 孝夫 (桜美林大学大学院)

11:00 — 11:20

資源管理からみた大学戦略 —国立大学法人の場合—

○山本 清 (国立大学財務・経営センター/東京大学)

11:20 — 12:00

総括討論

7 部会 文学部 127教室

カリキュラム

司会 岡田 佳子(長崎大学) 川嶋 太津夫(神戸大学)

10:00 — 10:40

大学におけるカリキュラム改革のための支援ツール開発

○鳥居 朋子(鹿児島大学) ○浪川 幸彦(名古屋大学) 夏目 達也(名古屋大学)
近田 政博(名古屋大学) 中井 俊樹(名古屋大学) 齋藤 芳子(名古屋大学)
黒田 光太郎(名古屋大学)

10:40 — 11:20

日本の大学教育におけるサービスラーニングの諸形態と教育上の役割について

○町井 輝久(北海道大学) ○尹 潔(北海道大学大学院)

11:20 — 11:40

大学におけるサービス・ラーニングの現状と課題 一日米事例調査より一

○西出 優子(東北大学) 西出 順郎(琉球大学) 白川 志保(広島大学)
白川 展之(広島県庁)

11:40 — 12:00

総括討論

青年期教育としての大学教育 —第三段階教育における流動性と青年の進路選択—

司会	山田 礼子 (同志社大学)
	羽田 貴史 (東北大学)
報告者	中村 高康 (大阪大学)
	濱中 義隆 (大学評価・学位授与機構)
	百合野 正博 (同志社大学)

趣旨

昨年度は、「大学から職業への移行」をテーマに、青年心理学、教育社会学、労働社会学の観点から職業への移行と青年の自立に果たす大学の在り方について議論した。そこで明らかになったことは、多様な学生の存在と高等教育への不本意入学及び怠学が急速に進行しており、大学生の不登校や中退などの現象も看過できなくなりつつあるということであった。

そうした状況を踏まえ、今年度は、より高等教育に焦点を絞り、特に、多様な学生のニーズに対応し、学生が自己選択しながら職業・社会への移行を果たしていく上で重要な役割を果たすであろう高等教育進学後の進路選択の問題を扱う。その際、中等教育と高等教育の接続問題は本課題を議論していくうえで、不可欠な視点である。とりわけ中等教育の大衆化・多様化が進行している現在、高等教育と中等教育との接続は多様になり、ミスマッチは当然起こりうると思えば、入学者選抜だけでは解消できないと考えられる。したがって、本課題では、中等教育段階での進路選択に見られる多様化の実際を検討したうえで、高等教育段階での編入学・転学の動向を題材に流動化現象を吟味する。その上で、実際の高等教育の場での学生の多様化、流動化に対して、大学はどのような支援を行っているのか、あるいは対処できているのかといった現状を把握する。

いかにして、高等教育進学後の流動性を高め、学生が選択しながら自己にふさわしい学習経験を獲得していくか、その際、教育の質の保証と学生の流動化をいかにして両立させるかという課題についても議論を深めたい。

こうした観点から、2007年度の課題研究では、上記の問題意識と課題について次の3つの報告をもとに議論をすすめていく。

専門職大学院における学位と知 ービジネス系の認証評価制度を通してー

司会	吉田 文 (メディア教育開発センター) 吉本 圭一 (九州大学)
報告者	伊藤 文雄 (青山学院大学) 高田 敏文 (東北大学) 館 昭 (桜美林大学)

趣旨

昨年度の「専門職大学院における教育と研究：社会系を中心に」に続き、今年度は「専門職大学院における学位と知：ビジネス系の認証評価制度を通して」として、ビジネス・スクールの認証評価機関である ABEST21 と会計大学院の認証評価機関である会計大学院第三者評価機構の事例を通して、ビジネス系の専門職大学院における学位やそれを保証する知のあり方に関して議論を行うことを目的とする。

昨年度の一橋大学法科大学院、慶応大学ビジネス・スクールの事例からは、多様な領域の学問的知識を実際の職業場面での問題解決能力に結び付けるための教育に、社会系の専門職大学院の従来の大学院とは異なる特徴があることが明らかになった。

ただ、ビジネス系の専門職大学院への資格試験予備校の参入、育成を目指す専門職の社会的認知が不十分な領域の存在という状況のなか、職業資格の取得、専門職の確立という問題を、その教育のなかにどのように織り込んでいくかが模索されている。認証評価制度は、そうした問題に対し外側から方向付けをし、大学院における知のあり方や学位の質保証をする課題を負っており、認証評価制度を検討することで、学位に内包される知のあり方がみえてくると考えることができる。

また、ビジネス系の専門職大学院は、専門職資格のグローバル化、専門職業人のグローバルな移動という状況を踏まえて、認証評価も世界の動向へ対応するという、もう 1 つの課題に直面している。

上記 2 つの認証評価機関の構築の過程で、これらがどのように議論され、どのような制度として結実したか、また、認証評価制度でもって、学位の質保証はどこまでできるかなどについて検討し、わが国における専門職大学院の今後のあり方について議論を深めたい。

いま、求められる高等教育研究とは？

司会 池田 輝政 (名城大学)
夏目 達也 (名古屋大学)

報告者 荒井 克弘 (東北大学)
田中 每実 (京都大学)
本間 政雄 (立命館大学)

コメンテーター 天野 郁夫 (東京大学名誉教授)

趣旨

近年、高等教育をめぐる状況は急速に、また大きく変化している。学術研究の巨大化とともに、研究経費や研究成果をめぐる競争の激化、社会からのアカウンタビリティ要求の高まりが顕著である。また、少子化による18歳人口の減少、大学経営の困難、高校以下の教育課程改訂やそれに伴う学生の学力や学習行動等の変化なども看過できない。これらの事態に対応すべく、教育行政の立場からの改革提案が行われ、大学も独自に改革を進めてきているが、状況はますます複雑化する様相を呈している。

これらの状況に対処するとともに、高等教育を発展させるために、各高等教育機関に求められる改革とはいかなるものであろうか。その改革を支援・促進するために行政機関には求められているものはなにか。高等教育のステークホルダーである各種の組織・個人の役割はいかなるものか。これらは今後の高等教育のあり方、進むべき方向を問うものであり、同時に高等教育研究のあり方を問うものでもある。これらの課題に対して的確な示唆や提案を示せるかどうかは、高等教育研究のあり方、ひいては本学会の存在意義にかかわる重要な問題である。

本シンポジウムでは、高等教育研究を進める立場として、アカデミックな研究と実践志向の研究の二つの立場から研究の動向(主な研究テーマ、方法、成果等)を紹介・整理するとともに、大学マネジメントの立場から高等教育研究に対する期待・要望を述べる。これらの報告をふまえて、いま求められる高等教育研究やそれを深化・発展させるための課題とはいかなるものかについて検討する。

－ 日本高等教育学会第10回大会プログラム －

発行日： 2007年4月20日

発行者： 日本高等教育学会第10回大会準備委員会

－ 準備委員会 －

委員長

伊藤 彰浩 (名古屋大学)

委員

青山 佳代 (名古屋大学)

阿曾沼 明裕 (名古屋大学)

池田 輝政 (名城大学)

黒田 光太郎 (名古屋大学)

小出 龍郎 (愛知学院大学)

齋藤 芳子 (名古屋大学)

近田 政博 (名古屋大学)

鳥居 朋子 (鹿児島大学)

中井 俊樹 (名古屋大学)

夏目 達也 (名古屋大学)

浪川 幸彦 (名古屋大学)

西野 節男 (名古屋大学)

早川 操 (名古屋大学)

松下 晴彦 (名古屋大学)

山口 拓史 (名古屋大学)

大会準備委員会

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学 教育学部内

日本高等教育学会 第10回大会準備委員会

TEL : 052-789-2623

FAX : 052-789-2623

E-mail : jaher2007@cshe.nagoya-u.ac.jp